

生まれたときから

横手市立横手南中学校 千葉 琴世

私は、税についてあまり知識がなく、前は生活に悪い影響を与えているものだと思っていた。私にとっての一番身近な税金についてを知るまでは。

私は、小児慢性特定疾病の一つである、完全型房室中隔欠損症という病気をもって生まれた。心臓の病気だ。母に、家族に心配をかけてしまったと思う。この病気は、乳児期早期に手術を行うと、一般的には手術をした後は良好で、私は二歳半のときに手術を行った。手術が成功したから、今、私は元気に生きていると母に教えてもらった。

この話を聞いたとき、入院費や手術費はどれくらいかかったのだろうと不安に思った。私が出た手術費ができた理由。今、元気に過ごせている理由。

それは税金のおかげだった。

小児慢性特定疾患医療費助成制度。この制度は小児慢性特定病にかかっている児童の医療費の自己負担分を補助してくれる制度だ。この制度のおかげで私は今生きている。一つの命がたくさんの人、税金によって救われたのだ。

また、私の住んでいる横手市には福祉医療制度というものがある。十八歳までの高校生や六十五歳以上の高齢身体障害者が対象で、この制度も、医療費の自己負担分を補助してくれる制度だ。病気やケガなどをすると誰でも不安になったり、心配になったりすると思う。でも、医療の制度が、税金が私たちを安心できる生活、暮らしに導いてくれているのではないかとと思う。

医療費だけではなく、税金には様々な使い道がある。道路整備や、ゴミ収集、教育、警察や消防など。もし道路が整備されていなければ、警察や消防の活動に税金が使われていなければ、私たちは安全な生活を送ることができない。学校にもたくさんの税金が使われている。今私が楽しい学校生活を送れているのは、税金のおかげだ。

税金は私たちに当たり前の日々を与えてくれる、当たり前の日々を生きる私たちを支えてくれる大切なものだ。

生まれたときから、私は税に支えられていた。たくさんの人々に支えられていた。そのおかげで今の私がある。毎日元気に学校に行くことができ、授業を受けることができる。でもこれは決して当たり前のことではないと気づくことができた。

今の私にできることは、私たちに幸せな暮らしを与えてくれる税に感謝し、一日一日を大切に生きることだ。そして税によって作られる幸せな日々を未来へつなげていきたいと思う。

私が税に支えてもらったのと同じように、私も誰かのことを支えられるような大人になりたい。そして、税の大切さが人から人にどんどん伝わってほしい。